

Obituary of the Late Dr. Hiroshi Usui

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2019-11-14 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: Hukushima, Tsukasa メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/00056053

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



○ 故薄井 宏先生を偲ぶ (福嶋 司) Tsukasa HUKUSIMA: Obituary of the Late Dr. Hiroshi USUI

昭和62年2月4日、宇都宮大学教授、薄井 宏博士が帰らぬ人となった。昨年9月の神戸大学の中西 哲博士に続く計報で群生生態学を志す者はまたしてもかけがえのない人を失ってしまった。ここで、先生の生前歩まれた跡をたどり、若干のエピソードを紹介しご冥福をお祈りしたいと思う。先生は大正13年3月14日に台湾でお生まれになり、昭和20年宇都宮農林専門学校を卒業後、昭和25年より宇都宮大学農学部林学科に勤務され、亡くなるまでの37年間後輩の指導と研究に従事された。先生は昭和30年に日本生態学会誌に発表された「湯西川北部流域の森林植生」を始め、30年代には北関東の冷温帯を中心に多くの業績を発表され、当時、発展途上にあつた我国の植物社会学の進展に尽された。また、我国の植生の代表的な優占種であるササの生態と分類の研究は先生のライフワークと言えるもので、昭和36年に「ササ型林床優占種の植物社会的研究」で京都大学から農学博士の学位を得ておられる。その後、「葉分析による植生の研究Ⅰ」(1979)をはじめとする一連の研究に示されているように植物群落構成種のもつ栄養塩類に着目した研究を展開され、植物社会の成立に果す栄養塩類の働きについての研究を進めておられた。志し半ばにして世界されたことは本人も不満であつたと推察される。10年も前になるであろうか、学会の折、筑波大学で倒れ、かなりの期間死線をさまよわれた。それもテニスで鍛えた体力で克服され、無理のきかない躰に鞭打ちながら講義や実習を行なっておられたと聞いている。先生は楽器を奏で、書を得意とした。また、宇都宮大学の校歌の作詩は先生の手になるものであるが、生前、「他大学の校歌の詩を解析し、何日も徹夜で完成した」と誇らしげに話されたことが思い出される。このように先生はロマンチストでもあつた。葬儀の時、大学の校歌が流れる中、先生の親しい友人の方から「今年1月、自分に許された残りの時間が少ないことを悟った先生から、『今後どんな生き方をすればいいのか、どんな本を読めばいいのか、私にはもう時間がないんです』と電話で切々と話された」と聞いた。正義感が強く、真面目に生きてこられた先生の人柄が思われて涙した。今は奥様のご実家である宇都宮市内の桂林寺で静かに休んでおられる。お子様のいなかった先生はいつも大切にしておられた奥様と今でもお話しになっているのではないだろうか。奥様に甘えた一面もあつた先生のことだから、心から先生のご冥福をお祈り申し上げる。

○ 丸尾源治先生を悼む (政谷徳治) Tokuji MASAYA: Obituary of the Late Mr. Genji MARUO

丸尾源治先生(1921~1986)の訃報を知つたのは10月人間ドックで、偶然同室になつた方からであつた。7月先生からの便りで、公立鶴来総合病院に入院しているがそろそろ退院できます。安心して下さいと記してあつた。忙しさに紛れて失念していたので思わず声をあげた。

丸尾先生は、石川県石川郡尾口村に生を受け、昭和20年9月東京農業教育専門学校(後の東京教育大学農学部)を卒業され、郷里で小学校や中学校の教壇に立たれた。昭和52年以後昭和58年3月退職されるまで、石川県派遣社会教育主事として社会教育に献身的に活躍された。

小中学校に在任中は、児童や生徒の理科教育の指導に情熱を注がれ、「中高教育への発展を考えた小学校理科教育における生物教材の考察」と題して、昭和43年度以降改訂の学習指導要領理科編生物の総合的な考察と共に、尾添川流域や桑島周辺の植物を、小学校の生物教材としてとりあげるために実証的な研究を進められた。

また手取川に手取ダム(ロックフィルダム)が建設されるのを機会に、ダム埋没以前の手取川の上流旧牛首川と尾添川周辺の植物目録を作成するなど幅広く活躍された。

退職後は、白山ろく一里野高原の丸尾ビレーズの経営と共に金沢市内の学童たちに、さつまいもの栽培や掘りとり等自然に親しむ勤労体験の場を提供されたりした。

白山ろくの植物を愛され、理科教育に情熱を注がれた丸尾源治先生のご冥福を心からお祈りいたします。

○ 池上義信(監修)・石沢 進(編集) 新潟県植物分布図集 第7集 コーエイ印刷株式会社(〒950 新潟県弁天橋通1-31-30), 昭和61年12月25日発行。A4版, 436頁+図版14頁。定価6,000円(送料別)。

第6集(本誌34巻1号に紹介)と同様100種につき、水平分布図・垂直分布図ならびに引用した標本産地が記されている。なお、県単位の植物図集では、最近(昭和62年3月)、神奈川県のものが出た。(里見信生)